

# Mランドささ山校 ニュース Vol. 30

平成21年9月1日発行 篠山自動車教習所 兵庫県篠山市池上569 TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940  
発行責任者 豊田文雄 HP <http://www.sasayama-ds.com/> E-mail [info@sasayama-ds.com](mailto:info@sasayama-ds.com)

本料理でも繁盛店や有名料理店、寿司屋、そば、天ぷら屋、おいしいという店を探して食べに行きます。わざわざ潰れそうな誰も行かないような店を探して、まずい料理を食べて、なぜおいしくないかを追求する人は、まさかいないでしょう。人は皆、まずさという不完全さを含まない、完全なフランス料理や日本料理を知ろうとするはずです。不完全さをいくら分析しても完全さ

教習部長 永井 興喜  
社長の話を受けて具体的には  
つきのように取り組みをはじめ  
ました。

ゲストは教習中や検定中、インストラクターの出している心の波動を敏感に感じ取っています。だからこそ、インストラクターが良い波動を出せるか、そのことが全て「心」の運転につながっていくのです。

「心の採点」を実施することにより、私たちインストラクターもゲストと一緒に成長していくけるとの確信しています。

一つ例え話をしてみましよう  
若い人たちが将来調理師を目指すとします。フランス料理のシエフを目指す人は、高級フランス料理店をホテルかどこかで見つけて、そこでコース料理を食べて舌を鍛えるでしょう。レストランで西洋料理を目指す人もやはり評判の良い店を見つけて、いい料理、おいしい料理とはどんな料理か、学ぼうとするでしょう。日

い心の運転です。  
心の運転とは人間らしい、人間に譲ることができる、美しい運転のことです。その合否の決定は、まずい料理を食べてみる減点方式ではなく、おいしい料理を目指しているかどうかの加点方式が自然です。「できる」「もう少しだ」「がんばれ」「立派だ、素晴らしい」「ありがとう」等々の加点方式であるべきです。

「心の運転は——加点方式」

社長 小河 二郎

Mランドが目指すのは  
心の運

を知ることはできませんし、そのためにはそこまで至る方法を見出すこともできません。

乗者、歩行者等周りの交通のことを考えて運転しているか「譲り合う」「相手を思いやる」ことが



心の採点満点の畠中さん（右）と井階所長

デカンショ祭り参加

はじめは二週間という合宿生活に少し不安でしたが、スタッフの皆様の温かいサポートのおかげで充実した日々を送ることがで

M  
ランドヤヤ山にて



デカンショ娘（前列左）も加わりやぐらをバックに記念写真

学科で分からぬ所はとても丁寧に教えていただき、効果測定前などは、私たちが理解するまで付き合つてくださいました。技能では失敗することもありましたが、今では路上もリラックスして走れるようになりました。これもインストラクターの方々の熱心なご指導のおかげだと感謝しています。Mランドささ山で学んだことを忘れずに、安全運転を心がけます。本当にありがとうございました。

A photograph of three young women in traditional Japanese kimonos standing outdoors at night. They are holding fans and smiling. The woman on the left wears a pink kimono with a floral pattern. The woman in the center wears a white kimono with a red sash and a floral pattern. The woman on the right wears a white kimono with a blue sash and a floral pattern. In the background, there are fireworks in the sky and a building with a sign that reads "M-LAND".

友達三人で参加の吉崎さん（中央）

■八月十五日、第五十七回を数える丹波篠山デカンショ祭りに「Mランドささ山」連として二回目、ゲスト・社員、卒業生も加わって総勢約五十名で参加しました。前夜には地元保存会の梶谷さんに踊りの指導をお願いし、本番では楽しく盛り上がり、篠山の夏を満喫しました。

きました。朝早くからボランティア活動に参加し、勉強しているだけでは学ぶことのできない事をたくさん学べたように思います。また、篠山でしか体験できないデカンショ節の踊りを練習し、祭りに参加したのもMランドささ山での思い出の一つです。合宿期間中に浴衣を着て祭りに参加できることは思っていなかったので非常に思い出深いエピソードです。学科で分からない所はとても丁

きました。朝早くからボランティア活動に参加し、勉強しているだけでは学ぶことのできない事を

新人インストラクター

紹介

■つぎの二名が八月よりインストラクターとしてデビュ  
ーしました。



佃インストラクター

安全運転で楽しいカーライフを送れるよう努力しています。

あなたの判断は！？

る側の管理責任が問われる  
ことになりそうですが、一  
方でそれを見越して先回

本来、自発的自律的なのが車の運転のはずです。

編集後記

A photograph of a wooden climbing structure, likely a playground equipment. The structure is made of vertical wooden posts and horizontal beams. A large safety net is attached to the left side. A red arrow points from the bottom left towards the left side of the frame, highlighting a specific area of the structure.

この塔ももちろん安全ではありますんし、あなた自身も決して一〇〇%信ずるに足りません。

自己を信ずることなく慎重に登つてけがなど無き様に気を抜かないで下さい。

この写真は小高い山頂にあり、周囲が一望できる展望塔で、右のような立て札が付けられています。同様

アメリカの観光地として有名なナイヤガラの滝には、事故防止のための柵が設けられていないそうです。その

代わりに「ここから先は危険！あなたの自己責任で行動を！」と書いた立て札だけがあるといいます。

万が一の事故に 日本では配慮が足りない、安全措置を怠つたと直ちに運営す

る側の管理責任が問われる事になりますが、一方でそれを見越して先回りし、あれもダメ、これもダメのがんじがらめにしてしまい、かえって危険に対する感覚、判断をマヒさせていくようにも思います。

決して野放図にほつたらかしを助長するつもりはありませんし、責任ということは、社会生活上とても大事なことだと思います。しかし昨今、自分のことは棚にあげ過剰に責任を押付ける風潮やそんなことで書くのというようなトンチンカンな取扱説明書や注意書きを目にすることもあります。

車社会でもあります。法令違反をして、これは自分だけではない。みんなやっていると言い張る人。ルールがおかしいとかいがる人。事故を起こしながら運が悪かった、本当は相手が悪いのだという人。こういう人は自分に都合のいい様に自己弁護し、他に責任を転嫁したい人のことばです。おそらく普段の生活や仕事においても同様のことばが出来るのではないかでしょう。

本来、自発的自律的なのが車の運転のはずです。  
以前、こんなことがありますました。学校給食に関する保護者懇談会で、「自分の子は骨のついた魚は食べないので出さないで欲しい」とある母親が発言しました。何か事情があるのかなど聞いていましたが、「魚の骨が刺さったらどうするのか」。おいた口がふさがらないとは、のことです。確かに今は要介護の方に治療食として骨がない魚を使うことがありますかなり普及してきていますしかし、本来魚には骨があります。それを身と骨とをキチンととりわけらるようにするのも食事をおしてのしつけであり、太きく言えば生きる術を身につけさせることであると思します。

A woman in a grey t-shirt and dark pants is sweeping a sidewalk next to a large tree. Another person is visible in the background near a building.

## 早朝より掃除するゲスト

## ■免許取得のためにここM ランドには全国から人が集 まっています。近畿七府県 はもれなく、関東・東海・甲 信越・中国・四国、在学す る大学は北海道・九州とい う方もいらっしゃってまさに 全国から人が集まります。

### Mランドではゲスト、スタ ッフ問わずコミュニケーション ツールとしてみんな名札を着 用しています。コンビニへ行 くのもおみやげを買いに行 くのも堂々と名札を着用して、わざか数週間なのに すっかりこの街に馴染んでい るようにも見えます。それ は篠山の人々がゲストを温か く受け入れてくれているから だと思います。敬意と共 に感謝申します。人生の一 ページをここ篠山で心おき なく楽しんでもらえるよう 今後ともよろしくお願ひし ます。(文)